

福知山市商工会 企業業況調査

令和4年4月調査結果(令和4年1月~3月分 調査対象 80件) (令和4年5月公表)

■景況感

	今回調査数	現状		先行3ヶ月		先行1年		
		今回	前回	今回	前回	今回	前回	
全体	80	26.9	28.6	32.5	29.3	36.9	34.9	
地域別	三和	17	35.3	37.5	38.2	34.4	39.7	35.9
	夜久野	27	23.1	22.8	31.5	27.2	37.0	35.9
	大江	36	25.7	28.4	30.6	28.4	35.4	33.8
業種別	製造業	21	29.8	35.7	38.1	40.5	47.6	46.4
	建設業	22	29.5	30.0	31.8	28.8	33.0	27.5
	卸小売業	14	21.4	20.8	25.0	18.8	35.7	29.2
	サービス業	23	25.0	25.0	32.6	25.0	31.5	33.7

景況感DIの算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出
 良い+1.0、やや良い+0.75、どちらともいえない+0.5、やや悪い+0.25、悪い+0.0
 (すべてが「どちらともいえない」と回答した場合、DIは「50.0」)

景況感DIは26.9と前回調査より1.7ポイントのマイナスとなり2期ぶりに低下した。地域別では、三和が2.2ポイント、大江が2.7ポイントそれぞれマイナス、夜久野が0.3ポイントのプラスとなっている。業種別では製造業が5.9ポイント、建設業が0.5ポイントそれぞれマイナス、卸小売業が0.6ポイントプラス、サービス業で横ばいとなっており、厳しい現状が続いている。

先行調査では、先行3ヶ月が32.5、先行1年が36.9であり、前回との対比ではそれぞれ3.2ポイント、2.0ポイントのプラスとなった。業種別に見ると、先行3ヶ月では全業種でプラス、先行1年では製造業・建設業・卸小売業はプラス、サービス業はマイナスとなっている。3月21日におよそ2ヶ月半ぶりにまん延防止等重点措置が全都道府県で解除されたことで、先行調査においては期待感が表れている。

■経営動向

○製造業・建設業

	今期		前年同期比		前期比	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
引合			-34.9	-24.4	-30.2	-17.1
売上			-30.2	-17.1	-30.2	-14.6
採算	-4.7	-2.4	-34.9	-41.5	-30.2	-39.0
資金繰り	-20.9	-14.6				
業況	-37.2	-31.7				

経営動向DIの算出方法

「良い」とみる割合(%)から、「悪い」とみる割合(%)を引いてDIを算出

(「良い」と「悪い」の割合が同じ場合、DIは「0」)

(製造業・建設業)グループと、(卸小売業・サービス業)グループに分類して集計をしている。

○卸小売業・サービス業

	今期		前年同期比		前期比	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
売上			-70.3	-40.0	-59.5	-31.4
客数			-70.3	-28.6	-67.6	-37.1
客単価			-45.9	-31.4	-45.9	-28.6
採算	-37.8	-17.1				
資金繰り	-45.9	-34.3				
業況	-64.9	-48.6				

★今期の経営動向

製造業・建設業においては、採算が2.3ポイント、資金繰りが6.3ポイント、業況が5.5ポイントのそれぞれマイナスとなっている。

卸小売業・サービス業においては、採算が20.7ポイント、資金繰りが11.6ポイント、業況が16.3ポイントのそれぞれ大幅なマイナスとなっている。

★前年同期比、前期比

製造業・建設業においては、前年同期比では、引合10.5ポイント、売上が13.1ポイントそれぞれマイナス、採算が6.6ポイントのプラス。前期比においては、引合が13.1ポイント、売上が15.6ポイントそれぞれマイナス、採算が8.8ポイントのプラスとなっている。

卸小売業・サービス業については、前年同期比では売上が30.3ポイント、客数が41.7ポイント、客単価が14.5ポイントのそれぞれマイナス、前期比については、売上が28.1ポイント、客数が30.5ポイント、客単価が17.3ポイントのそれぞれマイナスとなっている。

■今期直面している経営上の問題点 (業種別上位5項目 項目の後の()は前回順位(同順位あり)、業種の後の数字は回答数)

	製造業(60)		建設業(55)		卸小売業(32)		サービス業(60)	
1位	経費の増加(5)	20.0%	仕入単価の上昇(1)	27.3%	需要の停滞(2)	25.0%	仕入単価の上昇(1)	25.0%
2位	仕入単価の上昇(1)	18.3%	従業員の確保難(2)	16.4%	経費の増加(-)	12.5%	需要の停滞(2)	15.0%
3位	需要の停滞(4)	13.3%	需要の停滞(3)	16.4%	仕入単価の上昇(3)	12.5%	消費者ニーズの変化(-)	15.0%
4位	設備の老朽化(3)	11.7%	経費の増加(4)	14.5%	消費者ニーズの変化(1)	9.4%	経費の増加(4)	10.0%
5位	人件費の増加(2)	10.0%	設備の老朽化(5)	7.3%	従業員の確保難(4)	6.3%	設備の老朽化(3)	8.3%

前回調査に引き続き「仕入単価の上昇」が全業種上位を占めている。加えて「需要の停滞」「経費の増加」をあげた事業者が増えてきており、厳しい経営状況が顕著になっている。

■ 向こう1年間の設備投資の計画

あり (17事業者 22案件)					なし
上段:投資金額		下段:投資対象			
100万未満	100~500万	500~1,000万	1,000万超	63事業者	
1	7	4	5		
土地	建物	機械・重機	什器・備品	車両	
1	9	6	3	3	

(計画あり事業者数/事業者数)

業種別	地域別	
製造業	5/21	三和 3/17
建設業	3/22	夜久野 7/27
卸小売業	3/14	大江 7/36
サービス業	6/23	
全業種	17/80	全地域 17/80

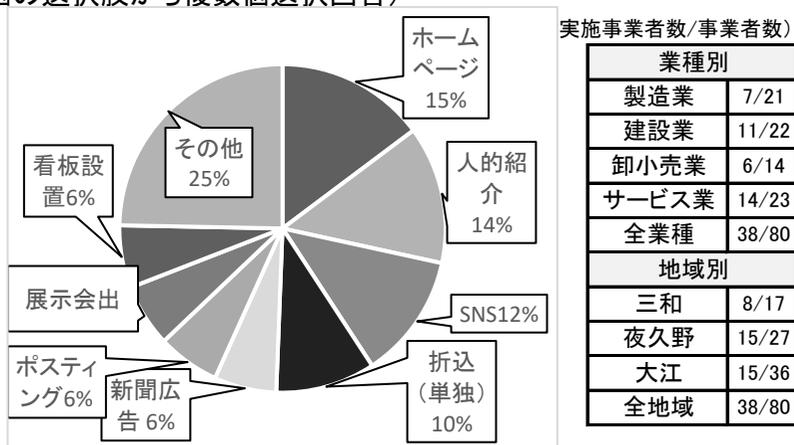
全体の21.3%に当たる17事業者が、向こう1年間に22案件の設備投資を計画しており、内5事業者で総額1,000万円を超える計画を有している。設備投資の対象としては、建物の新築・改修の割合が若干多くなっている。業種別では建設業の計画が少なく、サービス業での投資計画が多くみられる。

■ 過去1年間に実施した販路開拓ツール(15個の選択肢から複数個選択回答)

過去1年間に実施した販路開拓ツールとしては、80事業者の内、38事業者(47.5%)から、81点の販路開拓ツールを利用した旨の回答であり、実施した販路開拓ツール数が平均2.1点であった。およそ半数の事業者が何らかの手段により販路開拓に努め、1事業者で複数を実施しているところも多い。

業種別では、サービス業で実施する事業者が多く、製造業で少ないものの前回調査より13ポイントアップしている。

製造業及び建設業では人的紹介が多く、サービス業ではホームページやSNS活用が実施されている。

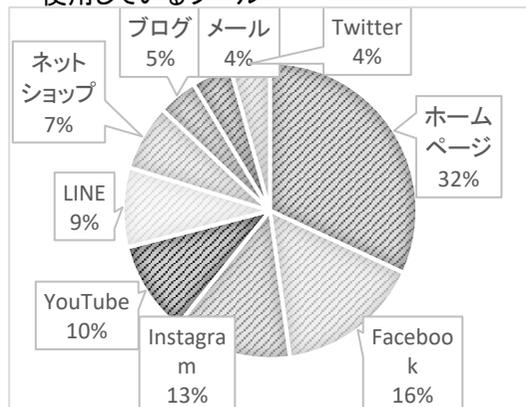


実施事業者数/事業者数)

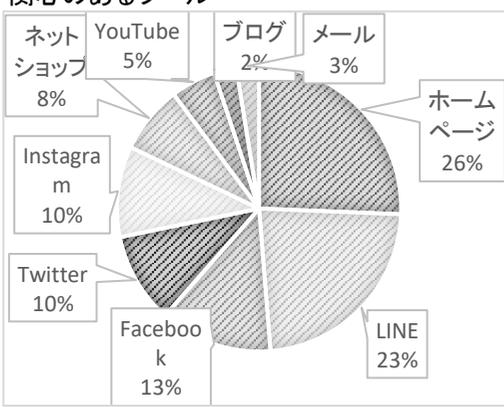
業種別	実施事業者数/事業者数
製造業	7/21
建設業	11/22
卸小売業	6/14
サービス業	14/23
全業種	38/80
地域別	実施事業者数/事業者数
三和	8/17
夜久野	15/27
大江	15/36
全地域	38/80

■ インターネットツールの使用状況と関心(複数個選択回答)

使用しているツール



関心のあるツール



(実施事業者数/事業者数)

業種別	使用	関心
製造業	8/21	7/21
建設業	9/22	6/22
卸小売業	1/14	2/14
サービス業	11/23	9/23
合計	28/80	24/80
地域別	使用	関心
三和	6/17	7/17
夜久野	12/27	8/27
大江	11/36	9/38
合計	28/80	24/80

28事業者から、69点のインターネットツールの使用状況の回答を得た。概ね半数の事業者が2つ以上のツールを使用しているとの結果となっている。使用が多いツールとしてはホームページが3割を超えており、次いでFacebook、Instagram、YouTubeと続いている。サービス業では半数の事業所でインターネットツールを使用している。

ツールへの関心があると回答した事業者は、現在使用している事業者と重なっている。このことから、現時点でインターネットツールを使用していない事業者の多くは、今後も使用しない可能性が高いと推定される。関心があるツールとしては、ホームページ、LINEで半数を占めている。

この調査は、福知山市商工会会員事業所を対象として、景気判断や経営動向等を明らかにし、売上向上を目指した事業計画の策定、販路開拓や商品開発、事業承継、経営改善等経営力向上を推進する基礎資料として活用することを目的に実施しています。

次回は令和4年4月~6月の状況について、令和4年7月に調査する予定です。商工会の支援員が調査にお伺いしますので、調査対象の事業所様には引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。